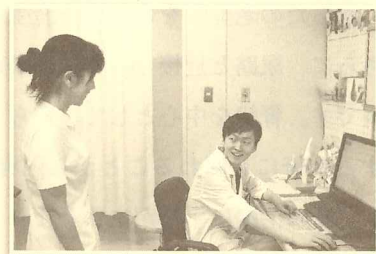




最近医療系のTVドラマや漫画などでもクローズアップされることの多い「研修医」という職業について、簡単にご紹介させていただきます。



「研修医」とは文字通り「研修中の医師」であり、医学部卒業後の2年間、大学病院やその他の一般病院において修練を積んでいる存在です。現在の研修医制度は厚生労働省によって平成16年に制定され、それまでは卒業後すぐに1つの専門科に所属するのが当たり前だったところを、医師としての最初の2年間を利用し、様々な科の業務に従事することで、専門科だけに偏らない幅広い知識・技能を身につけることを目的としています。私自身も今年の4月に当院に採用されてから現在まで、循環器内科、消化器内科、整形外科など、1～2か月ごとに所属科を変えながら研修を続けております。

また、以前は自分の出身大学に就職する医師が大半でしたが、本制度により、全国各地の病院の中から、自分に合った研修先を選ぶことが可能になりました。現在当院には私を含め出身地・出身大学ともに異なる4名の研修医が勤務しており、それぞれの目標を胸に研修に励んでおります。指導医の先生方をはじめ、院内のスタッフの方々にも様々な場面でサポートしていただいております。当院での研修を選択して良かったと心より感じている次第です。

最後に、私たち研修医がこのような形で診療に従事し、成長してゆけるのも、ひとえに当院を受診される患者さんやご家族の方々のご理解の賜物と感謝しております。まだまだ経験の浅い私たちではございますが、初心を忘れることなく、日々研鑽を積んでいく所存でございますので、外来や病棟で「研修医」のネームプレートを見かけたら、暖かく見守っていただければ幸いです。

研修医 鈴木 皓



病院だより



インフルエンザについて

Nobuo Shimazaki

島崎 信夫

泌尿器科とは？

Masaru Murai

村井 勝

研修医より

Hikaru Suzuki

鈴木 皓

国際親善総合病院

〒245-0006 横浜市区西が岡 1-28-1
TEL 045 (813) 0221 (代表)
FAX 045 (813) 7419 (総務課)

当院ホームページをご覧ください。

<http://shinzen.jp>



インフルエンザについて

今年もインフルエンザが流行する時期になりました。インフルエンザの流行には低湿度と低温度が関係すると言われていますが、冬ではない時期はどこにいるのでしょうか。実は真夏の時期（亜熱帯気候の沖縄でも！）にもインフルエンザウイルスは流行しており、年中人から人へと感染しています。ただし、感染しても明らかな症状がなく気が付かないこともあります。ヒトに感染するヒト型インフルエンザウイルスにはA型、B型、C型とあり、広範囲に流行し症状が重いのは専らA型です。A型にはAソ連型（H1N1）とA香港型（H3N2）の2つの型が一般的です。インフルエンザウイルスはDNAを持たないウイルスのためウイルス遺伝子の変異が甚だしく、流行しているウイルスの型がAソ連型やA香港型であっても人から人へ感染を繰り返すたびに変異を繰り返していきます。

ところでインフルエンザの治療薬として、現在市場には5種類の抗インフルエンザ薬が流通しています。抗インフルエンザ薬は、ウイルスが人の細胞内に感染・増殖した後、細胞内から外に飛び出すのを抑え込む働きをします。そのため抗インフルエンザ薬を投薬すると比較的早くに体温が下がりますが、決して体内のウイルスが死滅したわけではなく治癒もしていません。とくにインフルエンザは咳やくしゃみをしたときの微細な唾液や痰により人から人へ感染伝播します（飛沫感染）。そのため、咳・鼻水などの感冒症状がある間は休息する必要があります。また罹患したときに高熱がでるのはウイルスの活動を弱め免疫を活性化させる体に備わった自然の防御機能です。このような観点から、罹ったときは解熱剤の服用は最小限にすることに加え、脱水予防のための水分補給、マスクの着用と暖かくして寝ていることが、自分のためにも家族や周囲の人のためにも一番よいのです。

医療安全管理室副室長 島崎 信夫
感染制御専門薬剤師

泌尿器科とは？

— わが国におけるその歴史と最近の話題 —

からだの老廃物を含む尿を産生する腎臓と尿を排泄する通りみち（尿路）さらに、尿路と近接し、密接にかかわりのある男性生殖器を扱うのが泌尿器科です。腎臓を中心として、からだの電解質のバランスや、ホルモンを産生する副腎にも関わることから内科的要素も大いに関係する分野です。しかし、その治療は手術が主体となりますので外科学の1分野といえます。

ところが、1960年代後半までは大学病院ですら「皮膚・泌尿器科」として診療されていることが多く、現在でも開業の医院・クリニックにはその様な看板もみられます。何故でしょう？



昨年、日本泌尿器科学会は設立100年を迎えました。そこで今回の院内健康懇話会ではそのなぞを解くとともに、最近の泌尿器科の話題～前立腺の病気や頻尿についてお話しさせていただきます。

講演の最後には創立150周年を迎える国際親善総合病院の歴史についてもお話しさせていただき、あらためて皆様に愛される病院として精進することを誓いたいと思います。

病院長 村井 勝

このテーマは

平成25年1月11日(金) 15:00から約1時間

の健康懇話会にて講演予定です。

(入場無料、予約不要、どなたでもご自由にご参加ください。)